

# 火事は どこでも起こる！ 慣れた火に ご用心

## 秋の火災予防運動(十一月九日～十五日) 災害に備えて日頃の火の用心

家庭は家族の憩いの場であり、どこよりも安全でなければなりません。しかし、住む人のちょっとした油断や不注意から思わぬ火災やけがなどの事故が発生します。家族みんながお互いに注意しあって、火災や事故を防ぎましょう。



・たき火の後始末が不十分で、再び燃えだし、火の粉が飛び枯れ葉に着火した。



※わが家だけはだいじょうぶという気持ちが禁物です。

・こたつの中に洗濯物を入れ、乾燥させていたため、過熱から出火した。



・バイクのガソリンの量を確認しようとライターをつけたらガソリンのベーパー(蒸気)に引火した。  
※ガソリンは、マイナス40℃でも可燃性蒸気が発生します。



・給油タンクの蓋をしつかり閉めてなかったため、点火中のストーブに灯油がこぼれて出火した。



・布団にたばこの火種を落としたりで消した後、乾燥させるためにベランダに干していたらまた出火した。  
※布団の火はなかなか消えませんで注意してください。



・吸がらが完全に消えているものと思いき、屑かごに捨てたために出火した。  
※思い込みに十分注意しましょう。